

放課後等デイサービス評価表（事業所向け）

評価時期：令和3年2月1日～令和4年1月31日

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	【意見】	意見を踏まえ検討した対応 (改善目標・工夫していく点など)
					①・・・「はい」に対するご意見 ②・・・「いいえ」に対するご意見 ③・・・「どちらともいえない」に対するご意見	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4				現在の広々とした環境を維持できるように、日々の清掃と整理整頓に努めます。
	2 職員の配置数は適切であるか	3		1	①制度上必要な職員数を配置しています。	基準上必要な配置数を全職員が把握出来るよう、管理職だけではなく一般職員へも制度に関わる研修を取り入れていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			①建設の際にバリアフリーに配慮して建てられています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		1	①職員同士話し合う機会を定期的に設定し、個々が意見を出し合い振り返る機会を設けています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			①アンケートだけではなく、日々の連絡帳や個別面談を通して意向を確認するように努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		1	①法人HPIにて行っています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	2	②第三者評価は行っていません。	第三者評価についての説明を全職員に行います。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			①法人内部、法人外部の各種研修に積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			①利用開始前に2回の体験と面談を行う中でアセスメントをとっています。	ご本人・保護者の方との面接だけでなく、学校の様子や課題についても担任の先生から伺い、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4				千葉県の子どもの発達支援管理責任者研修で使用しているアセスメントシートや当事業所独自のアセスメントシートを利用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			①活動が頻繁に変わる事がストレスとなる場合もある為、個々の現状を見て内容の変更やレベルアップなどを行っています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			①ピアノ等、それぞれの活動を終えて、集団で取り組んでいると思います。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			①毎日ミーティングを行い、支援内容や役割分担について確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			①当日または、翌日に気になった事など報告しています。	個々の勤務の都合上、支援終了後の検討は難しい為、翌日のミーティングで行います。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4				
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			①半年に一回、モニタリングを行っています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			①課題も日常生活の内容(挨拶・身だしなみ等)も取り入れています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			①その都度連絡をして、調整しています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			①現在ケアが必要な児童の御利用はありません。服薬している児童については、保護者より変更等あれば連絡をいただいています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4				卒業にあたって認定調査の際に情報をお伝えしたり、事前の保護者同意を頂いた上で、生活介護や就労継続支援B型事業所の方に当事業所でのご本人の様子や課題の内容等をお伝えしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			①卒業前に実習等で障害福祉サービス事業所を利用される際にも、支援内容の共有などを適宜行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		2	③今はコロナ感染予防として開催見送りになっておりますが、樹の実の郷 大宮 秋まつりの際に交流があります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2		2	③地域の自立支援協議会は参加者が固定の為参加できません。地域の意見交換会等には参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			①連絡帳にて伝えていきます。状況により電話で話をしたり、面談を行ったりしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2		2		面談時にお話を伺い、必要な支援方法をお伝えしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			①児童発達支援管理責任者が契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			①個別面談時や日々の電話でのやりとり等、適宜相談に応じています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4				当事業所独自の会ではなく、社会福祉法人 樹の実会の後援として「樹の実後援会」があり、有志の父母の方々のご協力のもと年1回の会報の発行、樹の実の郷 大宮 秋まつりを開催しています。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4				事業所独自の会報は発行していませんが、後援会発行の会報は年1回発行しております。また、イベントを行った時には連絡帳に添付する形でレターを発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	4				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				口頭ではなく筆談を行ったり意思表示カードを使用し、個々の状況に合わせ対応を行っております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4				敷地内に就労継続支援B型事業所が運営する売店があり、地域の方々がお見えになっています。例年は「樹の実の郷 大宮 秋まつり」を開催し地域の方々との交流がありますが、今年度もコロナ感染予防の為、開催見送りとなりました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4				放課後等デイサービス計画に身体拘束についてを記載し、説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2		2		現在は該当の方が在籍されておりません。利用がある場合は、適宜医師の指示書を提出頂きます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			①千葉市の事故報告書をフォーマットとし、閲覧スペースに配慮してあり、誰でも閲覧できるようになっています。	